



第1回講師

河西 優氏 (立命館大学衣笠総合研究機構 研究員)

統合失調症の母親のケアを小学校高学年の頃より担う。
現在は個人研究のほか、(公財)京都市ユースサービス協会 子ども・若者ケアラーのつどい「いろはのなかまたち」のコアメンバーとしてピアサポート活動に携わったり、「子ども・若者ケアラーの声を届けようプロジェクト(YCARP)」の発起人としてメディアや研修会での発信を行っている。
『子ども・若者ケアラーの声から始まるーヤングケアラー支援の課題』(クリエイツかもがわ)第6章執筆

第2回講師

定本 ゆきこ氏 (精神科医 京都少年鑑別所医務課長)

非行少年の鑑別と支援に携わる傍ら、子どもと女性を中心に精神科診療にも従事している。
京都府いじめ防止対策支援委員会委員、京都府特別支援教育スーパーサポートセンター委員等を歴任。



KLS チームについて

私たち「京都女性の回復を支援する会(KLSチーム)」は、様々な依存症(アルコール・薬物・ギャンブル・買い物・ネット依存・摂食障害・クレプトマニア等)を持つ女性が、自らオーダーメイドの回復プログラムを作れる環境を目指し、当事者と支援者が共に作った任意団体です。

依存症からの回復は「依存行為を止めれば終わり」ではありません。なぜなら、彼女たちは多くの場合、依存以外にも様々な困難を抱えているからです。例えば、アメリカのある調査では「薬物依存症を持つ女性の2~3人に1人はPTSD症状を持っている」「薬物依存症とPTSD症状を持つ女性は、幼少期に身体的、性的な虐待を受けていることが多い」ことが分かっています。

問題が多岐にわたる場合、一つの機関や自助グループだけで対応するのは困難であり、多くの機関がネットワークを作り、回復を支えることが必要です。しかし、今の日本ではそのような環境はまだ整っていません。KLSチームでは、自身や家族に依存症の問題を抱えた女性の生きづらさを理解し、各々の「回復」とは何かを一緒に考え、ネットワークの中で支えることを目標に活動しています。

どうぞ今後ともみなさまのご協力をお願い申し上げます。

お問い合わせ先 TEL 075-741-7125 (京都マック)